

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら廿日市教室		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 38名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども2名に対して、職員が1名つくように体制を整えているので、個々の特性にしっかり対応することができる	こども個人のファイルを作成し、職員全員で把握し、問題や疑問はすぐに話し合い、共有する	慣れたスタッフに心を開く傾向なお児童がほとんどなので、担当を決めてしえんしていく。
2	定員が10名なので、外出イベントに参加しやすい	外出は集団活動として地域との交流にもなるので、見守りを強化して取り組む。	障害の特性別に担当を決めて、落ち着いた行動が出来るようになることで、地域のイベントにも参加できるよう、もっていく。
3	正社員が多いので、シフト制ではあるが、情報共有がしやすい	子どもがいない時間等にミーティングを開いて、こどもの状態や問題などを話し合う	同じ特性の児童をグループ分けをして、担当をつける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者の交流が難しい	保護者の方の勤務時間の調整、また個人情報等の関係で、なかなか参加者が集まらない	土日で保護者の休みに合わせて、年に1回でも参観日を計画していく。
2	職員は有資格者ではあるが、ご利用児童の特性への経験が浅い。	研修の受講や参考文献等の紹介、日々の事象への対応について事細かに話し合うなど、理解を深めるよう努めている	児童の少ない日に教室内の研修の場を設け、スキルアップに繋げていく。
3			